## 学生用

# 2020 年星槎大学スクーリング(会場受講)

# 受講ガイドブック

【重要】新型コロナウイルスの感染拡大防止対応として、会場にて受講の際にご注意いただきたい点をご案内いたします。学生の皆さまのご協力が会場開催のためには必須となりますので、記載内容を必ずご確認ください。

## ※お問合せ・ご質問窓口

星槎大学横浜事務局

〒227-8522 横浜市青葉区さつきが丘 8-80

電話:045-979-0261 質問フォーム(学生質問総合窓口)

平日:10:00~19:00 土日祝:8:00~17:00

※テレワーク勤務奨励により電話対応時間は変更となる場合があります。 学生ポータルサイトにて最新情報をご確認ください。

#### 1、会場開催の基本方針

新型コロナウイルス感染症の拡大を抑制する観点から、3 つの「密」を避けることを基本として、本学のスクーリング開催については以下の原則のもと運営する。

- ① 「新しい生活様式」を踏まえた学校の行動基準に沿って開催をする。
- ② 密を避けるため各会場の定員を設ける。

※3つの「密」=「密閉」「密集」」「密接」

#### 2、受講上の注意点

- ① 受講生は「検温・体調チェック表」に基づき受講までの健康管理に心がける。
  - \*体調がすぐれない場合は、受講をひかえること。
- ② 当日受付時に「検温・体調チェック表」を提出するとともに、会場にて検温をする。 (非接触型体温計使用)
- ③ 会場到着後手洗い、アルコール消毒(除菌シート)をすること。
  - \* 会場によってはアルコール消毒をご準備できない場合あり。各自除菌シート等を準備すること。
- 4) マスクをつけて受講すること。
- ⑤ 受講後 2 週間以内に学生本人及び家族に感染の陽性反応が出た場合は速やかに大学に報告すること。(濃厚接触者の可能性がある場合含む。)
- ⑥ 原則①~④にご協力いただけない場合は参加不可となりますが、特別なご事情がある場合は、事前にご相談ください。

#### 3、会場開催の運営方法

- ① 教室内では互いの距離を 1~2メートル程度あける。 \*対面スクーリング実施にあたっての教室レイアウト見本(横浜事務局)参照
- ② 近距離での会話や発声などを避ける。特に真正面での会話は避ける。
- ③ 定期的に教室の換気を行う。

#### 4、会場開催参加に向けて

- ① 規則正しい生活(運動、食事、睡眠、休養)により感染予防に心がける。
- ② 毎日の検温を習慣づけ体調管理に心がける(ご自身の平熱を把握しておいてください)。
- ③ 受講前後に関しては特に発症したときのために行動記録をとっておく。
- ④ お住いの感染状況及び都道府県から発令される情報には注意をすること。
- ※会場開催に関しては、急遽中止あるいは開催方法が変更となる場合があります。

学外秘

#### 新型コロナウイルス感染症拡大防止用

## 検温・体調チェック表 (会場スクーリング受講用)

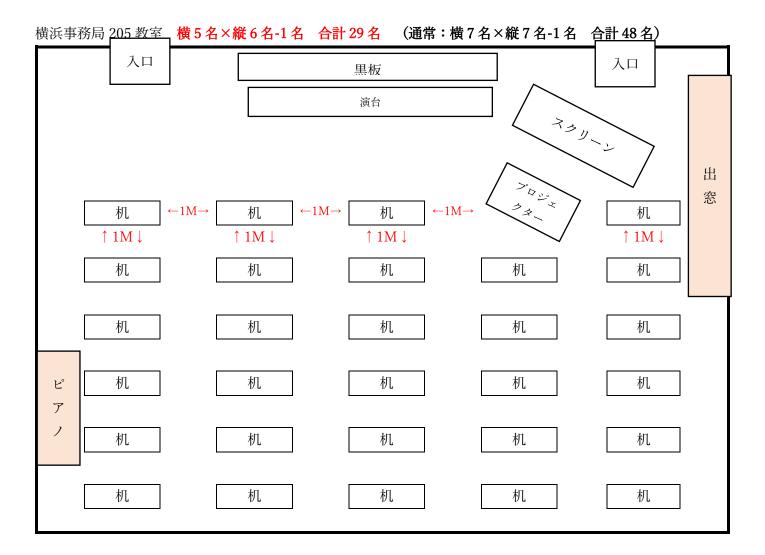
## ※スクーリング受付時に必ずご提示ください(提示がない場合はスクーリング受講ができません)

学籍番号			氏名		
専攻(正科生のみ)	共生科学部(			専ュ	女)
受講科目名			スクーリング	会場	
受講期間	年 月	日(明	翟日)~ 月	日(	曜日)

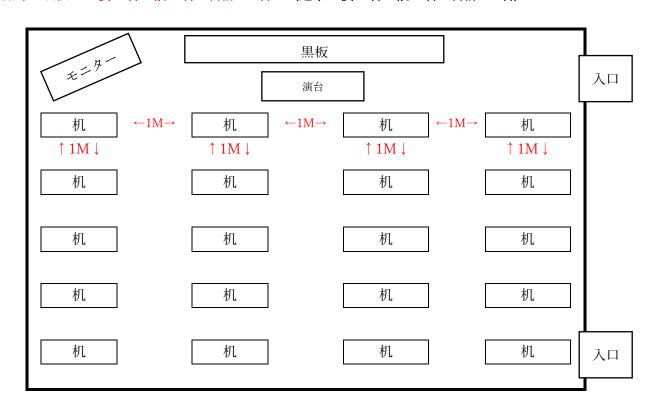
	該当する項目に〇印をつけてください									
1	計測日		体温(朝)	体温(夕)	倦怠感	頭痛	下痢	味覚 嗅覚異常	息切れ	その他
14日前	月	日	度	度	有·無	有・無	有·無	有・無	有·無	
7日前	月	日	度	度	有·無	有・無	有·無	有・無	有·無	
6日前	月	日	度	度	有・無	有・無	有·無	有·無	有・無	
5日前	月	日	度	度	有·無	有・無	有·無	有・無	有·無	
4日前	月	日	度	度	有∙無	有∙無	有·無	有·無	有∙無	
3日前	月	日	度	度	有·無	有・無	有·無	有·無	有·無	
2日前	月	日	度	度	有·無	有・無	有·無	有・無	有·無	
前日	月	日	度	度	有・無	有・無	有·無	有·無	有∙無	
当日	月	日	度	度	有·無	有・無	有·無	有・無	有·無	
2日目	月	日	度	度	有·無	有・無	有·無	有・無	有·無	
3日目	月	日	度	度	有·無	有・無	有·無	有・無	有・無	
4日目	月	日	度	度	有·無	有·無	有·無	有·無	有·無	

- ※気になる症状がある場合にはその他に記入。
- ※体温は日内変動がありますので、できるだけ同じ時間に測るようにしてください。
- ※自身の平熱を把握し、平熱より1℃以上体温が上昇し続いている場合は、ご受講はお控えください。
- ※当日会場においても検温(非接触型体温計使用)していただきます。
- ※こちらの用紙はスクーリング当日(複数日程の場合は最終日)に大学で回収いたします。
- ※スクーリングが2週に渡る場合は、1週ごとに提出が必要となります。
- ※受講後2週間以内に感染の陽性反応が出た場合、あるいは身内に感染者が出た場合は、速やかに大学に報告してください。
- ※本紙はスクーリング受講確認以外の用途に使用することはありません。

【問い合わせ先】星槎大学横浜事務局:045-979-0261



横浜事務局一般教室 横4名×縦5名 合計20名 (通常:横5名×縦6名 合計30名)



# 「新しい生活様式」を踏まえた学校の行動基準

地域の感染レベル	身体的距離の確保	感染リスクの高い 教科活動	部活動 (自由意思の活動)
レベル3	できるだけ2m 程度 (最低1m)	行わない	個人や少人数での リスクの低い活動で短 時間での活動に限定
レベル2	できるだけ 2 m 程度 (最低 1 m)	リスクの低い活動から 徐々に実施 <sup>2</sup>	リスクの低い活動から 徐々に実施 <sup>2</sup> し、教 師等が活動状況の確 認を徹底
レベル 1	1 mを目安に 学級内で最大限の 間隔を取ること	十分な感染対策を行 った上で実施	十分な感染対策を行 った上で実施

「レベル3」・・<u>生活圏内の状況が、「特定(警戒)都道府県」に相当する感染状況である地域</u> (累積患者数、感染経路が不明な感染者数の割合、直近1週間の倍加時間な どで判断する。特措法第45条に基づく「徹底した行動変容の要請」で新規 感染者数を劇的に抑え込む地域。)

### 「レベル2」・・生活圏内の状況が、

- ① 「感染拡大注意都道府県」に相当する感染状況である地域 (特定(警戒) 都道府県の指定基準等を踏まえつつ、その半分程度などの新規報告者等 で判断することが考えられる。感染状況をモニタリングしながら、「新しい生活様式」を徹底するとともに、必要に応じ、知事が特措法第24条第9項に基づく協力要請を実施する地域)及び
- ② 「感染観察都道府県」に相当する感染状況である地域のうち、感染経路 が不明な感染者が過去に一定程度存在していたことなどにより当面の間 注意を要する地域
- 「レベル1」・・生活圏内の状況が、感染観察都道府県に相当する感染状況である地域の うち、レベル2にあたらないもの(新規感染者が一定程度確認されるもの の、感染拡大注意都道府県の基準には達していない。引き続き感染状況をモニタリングしながら、「新しい生活様式」を徹底する地域)
- ※ 上記のいずれの地域に該当するかは、地域のまん延状況や医療提供体制等の状況を踏まえ、自治体の衛生主管部局と相談の上、判断すること。